



## 滝川市の野菜栽培・加工技術をモンゴルへ！

- **実施団体:**  
北海道滝川市、(一社)滝川国際交流協会
- **相手国:**  
モンゴル国 (ウブルハンガイ県)
- **協力内容:**
  - ・ 玉ねぎの収穫の改善 (収穫サイクルの短縮と収量増加)
  - ・ 農産物の加工と直売所での販売のための技術指導 (現地での指導および日本での研修)
- **これまでの取り組み、背景:**
  - ・ 滝川市は、「世界に誇れる国際田園都市」を標榜し、青年招へい事業等を通じ、市の強みである農業分野を中心とした国際協力を実施してきた。
  - ・ 2010年から市の観光大使を務めた横綱白鵬関が縁となってモンゴルとの関係が深まった。
  - ・ 市全体で取り組む滝川市のおもてなしに感銘を受ける外国人も多く、モンゴルでは滝川市訪問の経験のある人が「たきかわクラブ」を結成し、本事業にも非常に積極的に取り組んでいる。



現地直売所併設の加工室で指導をする様子

## モンゴルの課題と成果

**課題** 野菜の自給率が低く、農家の所得も低い。

**成果** 生産コストが高い玉ねぎの収穫が2年から1年に短縮！1haの収量が約48%増加！直売所での加工品販売も開始！

### 副次的効果

現地では失業率が高く、学校卒業後も就職困難。  
 →滝川市で研修を受けた現地の実業高校教職員は、日本で学んだ技術を学校の授業に活かし指導している。  
 将来は技能実習生等として滝川市に受け入れる予定。

## 滝川市への波及効果

**農業以外の分野でも交流が深化、  
 モンゴル人材受入に向けた取り組みも！**

- ・ 滝川市とウブルハンガイ県が友好交流宣言を結び、農業に加え、建設分野での交流を開始している。
- ・ 滝川市は同県より技能実習生を受入れる予定。モンゴルにとっては雇用と技術の習得、滝川市にとっては外国人財の活用というwin-winの人財交流を目指す！
- ・ 滝川市は、技能実習等で来日するモンゴル人にとって「安心して働ける場」となることを目指している。